

令和6年5月15日

保護者各位

糸満市立光洋小学校
校長 新垣 仁
(公印省略)

令和6年度の「評価の伝え方」についてのお知らせ

時下、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より、本校の教育活動に対してご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、見出しの件につきまして、今年度の「評価の伝え方（よい子のあゆみ等）」について、昨年度の学校評価のアンケート調査の結果を踏まえ令和6年度のは下記のような「評価の伝え方」の実施を予定しています。取り組み内容については、学校運営協議会（糸満市教育委員会が学校に設置を求めている仕組み。PTA代表、地域の学校協力者等で編成される。）の了承を得ておりますことを合わせて申し添えます。

保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 令和6年度の評価の伝え方

1学期（7月）	2学期（12月）	3学期（3月）
・学習評価を記載（所見はなし）した「よい子のあゆみ」の配布 ・個人面談による説明（夏休みに実施）	・学習評価を記載（所見はなし）した「よい子のあゆみ」の配布	・学習評価、所見を記載した「よい子のあゆみ」の配布
評価期間（4～7月）	評価期間（8～12月）	評価期間（1～3月） ※所見については年間を通じた内容の記載

2 変更の理由について

学校評価の職員アンケートからは、「年1回の『よい子のあゆみ』の配布ということで、学期末にゆとりができ、学期末まで授業内容を進め、頑張りノートや連絡メモにて日頃の取り組みや評価、児童の頑張りを伝えることができました。子どもたちからも自分の課題やがんばりを見返したいという声がありました。学習評価に関しては子ども達も保護者にとっても振り返りにもなるので、行った方がいいと思います。」という意見がありました。評価を毎学期行うことは児童や私たち教師の振り返りにもなり、今後の子ども達の意欲や教師の指導方法の改善に繋がることから、評価については毎学期行っていく必要があると考えています。また、個人面談については、授業時数の確保や授業進度に影響ないように、今年度は1学期の夏休みの実施を予定しています。

学校評価の保護者アンケートからは、「先生方の負担軽減なるようであれば昨年度同様の方法がいい。評価がなくても、1、2学期の個人面談で丁寧な説明がありよかった。子どもたちの振り返りの為にも毎学期『よい子のあゆみ』の配布がいい。」という意見がありました。

そこで、今年度はこれらの意見を総合的に踏まえて、「よい子のあゆみ」は1、2学期は所見なしの評価、3学期は所見ありの評価を行い、個人面談は1学期のみという方法を行っていくことにしたいと思います。保護者の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

3 その他

令和7年度の「評価の伝え方」については、今年度実施後アンケートを行い、その結果を踏まえて検討する予定です。